毎日新聞　三田・阪神版　2016/02/05

お年寄りらともちつき大会

三田・志手原小

三田市立志手原小学校で4日、恒例のもちつき大会があった。志手原小の児童と小学校と同じ敷地にある幼稚園の園児計約90人が、まきの火で蒸し上げたもち米を、きねと臼でつき上げた。

地域住民と子どもたちのふれあいの場を持とうと、地区の老人クラブ連絡協議会（福西勝弘会長）など校区内の地域団体が協力し、毎年この時期に開いている。今回で19回目。

この日は、朝から地域のお年寄りや保護者ら約50人が準備。もち米は4、5年生の児童が、田植えや稲刈りなどをして育てたものを使った。

子どもたちは「ヨイショ、ヨイショ」とかけ声を上げながらきねを振り下ろし、つき上げたもちは、ぜんざいにして味わった。4年生の岡上大雅さん(10)は「おもちは大好き。自分たちで育てた米をついたので、ひときわおいしい」とつきたての伸びるおもちに舌鼓を打っていた。【粟飯原浩】

園児と一緒にきねをふるう小学生ら＝三田市立志手原小学校で

志手原小学校だより２月号より抜粋

２月の主な行事予定

１日（月）全校朝会
４日（木）ふれあい餅つき大会
５日（金）そよかぜ号
８日（月）児童朝会
１０日（火）新一年生入学説明会
　　社会見学（３年）伊丹昆虫館
１１日（木）建国記念日
１２日（金）諸費引き落とし日
＊１８日（木）志手原幼稚園　生活発表会
１９日（金）参観日（高学年）・学級懇談
２２日（月）感謝の集い
２５日（木）給食費引き落とし日（１月分）
　　参観日（低学年）・学級懇談
２６日（金）そよかぜ号

（玄関の紅白の南天）

ひょうごっこ
がんばりタイム
４日（木）
１８日（木）　１～６年

餅つき大会　２月４日（木）

志手原校区老人クラブ連絡協議会主催

老人会や地域の方々のご協力を得て、今年も実施していただきます。昨年度、他府県での餅つきの際にノロウイルスによる食中毒が発生したとのことで、保健所から再加熱するようにとの助言・指導があり、「ぜんざい」「雑煮」（豚汁）をしていただくことになりました。地域で採れた野菜をたくさん入れていただくなど、いつも、子どもたちのことを考えてくださる老人会のみなさんや地域の方々に感謝です。